

八戸工業高等専門学校

同窓会会報

八戸高専同窓会 第47号

同窓会会報 47号の目次

国際寮の完成予想図	1	私のお仕事紹介します	5
会長あいさつ	2	学内ニュース	6
校長あいさつ	3	コースからのメッセージ	10
支部会報告	4	令和3年度 事務局短信	12

国際寮の完成予想図



令和3年12月25日頃の完成を目指し、新営工事中です。

会長あいさつ ~with コロナでの同窓会~



【同窓会会長 舘山 勝 (Z6)】

昨年6月から第二の就職で上野に通勤している。上野は東北人には馴染みの場所であり、青森県人を相手にした店も多い。私も近くに八戸料理のお気に入りの店を見つけた。店長が八戸出身の元気な若者で、昨年までは時々利用していたのだが、その店長の元気がない。今年になって1月に2回目、5月に3回目、7月からはダメ押しの4回目の緊急事態宣言で、長期の休業に追い込まれている。感染に気を付けて営業している真面目な店だけに潰れないことを祈るばかりである。

一方、同じ上野でも少し離れたアメ横のガード下では、宣言下でも酒を提供する店が多い。8月の炎天下、近くを歩いていると多くの人たちがマスクも付けず、日中からジョッキを傾け、大声を出しながら五輪観戦を楽しんでいた。若干、羨ましいとも思ったが、デルタ株の感染が拡大中であり、危険地帯を足早に通り返した。店にも客にも、いろいろな事情や考えがあると思うが、いずれにしてもコロナに対するリスクの捉え方には個人差がある。

世の中にはいろいろなリスクが存在するが、当然ながら、リスクをゼロとすることは出来ない。私の仕事上の問題であるが、大地震が起きた時に新幹線の脱線ゼロとすることは不可能である。ただし、

最近では地震対策が進んでおり、自宅に居て家が崩壊する確率の方が、よっぽど高いと説明している。このように、起こりうるリスクの確率を算出し、災害や事故など企業が抱えるリスクを利用者・地域住民などと情報共有し、相互理解を目指す手法をリスクコミュニケーションと呼び、最近、いろいろな場面で用いられている。

次に、コロナ禍での同窓会を考える。同窓会のだいたいご味は、数年ぶり、数十年ぶりに同じ釜の飯を食べた仲間と会い、連帯感や友情を育み、昔を懐かしむことにある。このため、必然的に「三密での飲食を伴う交流」がベースとなるが、コロナ禍がそれを阻んでいる。高齢者の参加が多い同窓会にて、万が一にでも感染し死亡者を出したものであれば、同窓会存続の危機である。とは言っても、死亡リスクがゼロになるまで活動再開を待つならば、永遠とその日はこない。

実際、同窓会では異常事態が続いている。昨年9月に予定されていた総会はやむを得ず中止に、例年5月に実施していた理事会・評議会は、ワクチンが行き渡ることを期待して9月へ延期したが、それとて危うい。その他、支部活動や個々に開いていたクラス会、還暦の会など、いずれも壊滅的な状況にある。

そこで登場するのがリスクコミュニケーションである。7月末データでコロナで死亡される方の年確率を算出すると青森県は 1.8×10^{-5} で日本全体の1/5であり、県内で交通事故で死亡する確率に近い。それぐらいなら大丈夫と考える人と、危ないと考える人がいるので、だからと言って活動開催してもよいということにはならないが、ワクチンが行き渡りwith コロナが浸透し、三密交流が再開できる機運となることを祈るばかりである。それまでは、味気ないWeb会議などに頼るしかない。

校長あいさつ

依然として、コロナウイルスが猛威をふるっています。本校では、校内の感染防止対策を十分に
するだけでなく、学生のご家族等に感染疑い者が
出たとき、その学生を公欠とし、感染拡大防止に
万全を期しています。約 300 名が学寮で生活する
本校では、学生・教職員に万が一感染者が出て、
校内の感染者が出ることを極力防止するためです。

しかし、明るいニュースもあります。ワクチン
接種が徐々に加速していることです。本校では、
八戸市の高等教育機関と共同で、9 月から職域接
種を学生と教職員に実施することになりました。
ワクチン接種の増大と共に、コロナ禍も漸く出口
が見えてきました。イギリスの文豪シェークスピア
が書いたように「明けない夜はない」のです。

本年度から、機械システムデザインコースが、
「機械・医工学コース」に改名されました。学科
やコース名に「医工学」とついている高専は本校
が唯一です。本校では、医療福祉関係機器の開発
や共同研究を行っており、医工学に携わる教員も
多いこと、医療機器に機械工学は欠かせないこと
などが、コース名変更の理由です。

いま、キャンパス内では大規模な工事が行われ
ています。一つは、新規の国際寮です。もう一つ
は、現在の北辰寮 N 棟を取り壊して建設する新寮
です。いずれも、E 棟と同様に、個室とコモン
スペースを有するシェアハウス型混住寮で、留学生
と日本人学生が共に生活します。この 2 棟が完成
すると、現在運用中の E 棟と合わせて、150 人規
模の混住寮ができることになります。

青森県外の卒業生のご子息にも本校を受験して
いただきたいと思います。高専では遠隔地受
験が可能となっており、最寄りの高専から本校の
受験が可能です。新しい寮も完備しております。
特に、本校卒業生のご両親が青森県に在住の方は、



【特別会員・学校長 圓山 重直】

(まるやま しげなお)

ご検討いただけると有難いです。

昨年度から、「一般財団法人はちのへ科学技術研
究会」と共同で、卒業生の皆様の再就職支援を行
っています。令和 2 年度は、初年度にもかかわら
ず、16 名の問い合わせがあり、7 名の再就職が決
まりました。その内 1 名は 60 歳定年で八戸市に戻
られた方です。再就職を希望される卒業生の方は、
「一般財団法人はちのへ科学技術研究会」にご相
談ください。

令和 2 年度の本校の人事異動ですが、矢口淳一
教授が令和 3 年 3 月 31 日をもって定年退職とな
りました。先生の本校への永年のご尽力に敬意を
表するとともに、心から感謝を申し上げます。

また、令和 3 年 4 月 1 日に電気情報工学コース
角館俊行助教、大里辰希助教、マテリアル・バイ
オ工学コース小船茉理奈助教が赴任されました。
今後のご活躍を祈念致しております。

同窓会の皆様には、今後とも本校発展のために
一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申
し上げます。

支部会報告

関東支部より

【八戸高専同窓会関東支部長 戸田 和孝】

同窓生各位におかれましては、長引くコロナ禍にも負けずにご健勝のことと存じ上げます。

関東支部では同窓会活動としてサロン会やロボコン全国大会臨場応援を行っておりますが、都内でのコロナ禍による自粛が長期間に渡り、この一年間も同窓会活動を自粛致しました。

一昨年開催予定の圓山校長先生に講師をお願いしておりました第41回サロン会も延期したままで、新日程もいまだに決められずにあります。延期の件、圓山校長先生をはじめ同窓生各位にも大変申し訳なく思っております。まだ先の話にはなりますが、年明け令和4年早春にはなんとか開催したいと願っております。ただ、こればかりはコロナ禍の収束状況次第ですので、新日程の件、もうしばらくお待ちくださるようお願い致します。

国難とも言える、この未曾有の新型コロナウイルスには必ず打ち勝つと信じております。かつて、平成23年3月11日に発生した大地震と大津波による大災害も国難と言えらると思っておりますがそれを乗り越えて、現在も復興は確実に進んでおります。

その年に開催いたしましたサロン会は、被災地で仕事・生活しておりましたE科7回生の新山様に講師をお願いし、過去の大津波の石碑や3.11当時の写真動画も参加者に見て頂きました。当時の集合写真を添付致しますので、ぜひ見て頂き更に元気を出して頂ければ嬉しいです。

当時は福島原発が稼働できずに電力不足となり、東京周辺では時間指定された計画停電が行われ、大規模な工場や施設が停電のために自由に使用出来なくなり、サロン会の会議室も都内の料理店の2階を借りて開催いたしました。

関東支部では今後もサロン会等の同窓会活動を継続致します。以下のメールアドレスにご連絡いただければ、関東支部の活動情况等をメールにてご連絡いたします。

tod.kaz@r2.dion.ne.jp

同窓生の皆様のご理解とご協力に感謝しております。



平成23年開催のサロン会の様子

私のお仕事紹介します

「安全で豊かな未来をつくるために」

株式会社ボゾリサーチセンター

C45 中村 真生さん

弊社は医薬品や化学物質など多岐にわたる開発品の安全性試験に加え、標的分子の活性測定法開発から薬効薬理試験を含む包括的な開発支援の担う CRO です。入社時より東京研究所（世田谷区）で培養細胞を用いた遺伝毒性試験や細胞毒性試験などの受託業務に取り組んでおり、現在試験責任者として、試験や従事者の管理に努めています。特に、試験責任者は試験全般の責任を有するため、結果の解釈や判断の重要性にいつも悩まされています。しかし、国民の皆様の安全・安心に関わる重要な業務と考えおりますので、いつもやり甲斐を感じています。

これと並行して、新規試験法開発やそのバリデーション研究、さらには基礎研究にも携わらせていただいています。これまでにコンタクトレンズの粘膜への炎症や刺激性を評価する直接接触法による細胞毒性試験や短期発がん性を検出する Bhas 42 細胞を用いた形質転換試験などの導入に関与してきました。また、国立医薬品食品衛生研究所や大学との共同研究を通じて、学会や論文発表も経験させていただきました。

これらは、高専時代に学んだ知識や技術を生かすことのできる仕事であり、とりわけ遺伝毒性試験に関してご指導いただいた先生方に厚く感謝申し上げます。今後も、たくさんの経験をし、日々成長していければと思います。



「自然の恵みをエネルギーに、そして社会に」

東京電力リニューアブルパワー（株）

水力部 水力工事センター 副主任

Z37 木下 良介さん

私は高専卒業後、紆余曲折を経て平成 28 年から現在の会社に勤めています。

当社は、東京電力グループの中で再生可能エネルギー事業を継承した会社であり、水力部では計 163 ヶ所、総出力約 987 万 kW の水力発電所を運営しています。

中でも最も古い発電所は、明治時代に建設され、現在も現役で発電運転を行っていますが、私は、これら老朽化が進んだ発電所のリプレース計画のうち、土木工事に係る一連の業務（調査・計画、設計、申請、工事積算など）を行っています。

業務内容が多岐に亘るため、特に社内外の関係者との調整に苦勞しますが、自ら設計したものが現場で形になり、稼動していく過程を見ることができるため、大きなやりがいを感じています。

また、煉瓦造りの水路や建設当時の写真、手書き・手計算の構造計算書など、現在までの土木技術の変遷に触れることができるのも魅力の一つだと思います。

今後、仕事を通じて社会全体の脱炭素化と地域に根差した産業の発展に貢献できるよう取り組みたいと思います。



学内ニュース

定年退職教員のご挨拶

「八戸高専での20年間」

【産業システム工学科 環境都市・建築デザインコース
教授 矢口淳一先生】

八戸高専同窓生の皆さん、ご無沙汰しております。産業システム工学科環境都市・建築デザインコースの矢口淳一です。20年間お世話になりました。お蔭さまでこの3月を持ちまして定年退職を迎えることとなり、一言ご挨拶申し上げます。

平成13年4月に八戸高専に赴任してきた時は、ちょうど新校舎が落成して移転する時で、建設環境工学科のみ改築と聞いていましたが、当時全国の高専で最も新しい教室で新鮮な気持ちで教壇に立ったことを今でも覚えています。あれからちょうど20年、最後はコロナ渦の中とても厳しい試練の年となりましたが、何とか定年退職を迎えました。

私は赴任するまで16年間水処理会社に勤務しており、高専については全く知らないことばかりで、当初はカルチャーショックの連続でした。専門は水環境工学ですが、水、大気、土壌などの地域環境から温暖化など地球環境まで環境関連の科目全般を担当してきました。一時はJABEE対応のため、建設(Z)以外の3学科の学生100名以上を合併教室に集め、環境工学を教えたこともありました。また優秀で学習熱心な学生たちのおかげで

beginner's luck に恵まれ、初めて出場したデザコン環境部門での最優秀賞、初めてロボコン委員を担当した時20年ぶりの東北大会優勝などは忘れられない思い出です。

50周年記念行事では、イベントとして開催した卒業生記念講演会で、各学科2名、計8名の同窓生に講師を務めていただき、在学生の進路決定に多大な貢献をしていただきまして、心から御礼申し上げます。高専の教員にとって20年は決して長くない年月ですが、様々なことがありました。専攻科の設置、JABEE審査、認証評価、学科再編、4学期制と自主探究、また大震災やコロナ渦など想定不能の事態も経験しました。こうした中20年間何とかやってこれたのは、教職員、学生、保護者そして同窓生の皆様のご支援とご協力の賜物です。心から感謝申し上げます。長い間本当にありがとうございました。

最後に、八戸高専の益々の発展と、同窓生の皆様のご健勝とご活躍を祈念して退職の挨拶といたします。



新任教員紹介

【産業システム工学科 電気情報工学コース 助教 角館俊行先生】

令和3年4月1日付で電気情報工学コースに着任しました、カクダテトシユキと申します。出身は北海道函館市です。高校卒業後、岩手大学で学士と修士を取得し、その後、物質・材料研究機構と



筑波大学が連携し運営する、国際色豊かな連携大学院にて博士号を取得しました。直近の約10年間は、東北大学多元物質科学研究所(多元研)で技術職員として、新しい実験装置の開発改良と薄膜X線回折装置や顕微ラマン分光装置などを用いた依頼分析に取り組んでおりました。

専門は表面科学で、有機分子薄膜の構造と物性に関する研究を、主に走査トンネル顕微鏡と薄膜X線回折装置を用いて行ってきました。有機分子薄膜を用いたトランジスタやセンサの開発にも携わってきたので、今後も基礎と応用の両面から、研究を進めたいと思っております。また、前任地の東北大多元研と同様、本校はものづくりに恵まれた環境ですので、実験装置の開発改良とその応用に、教職員や学生のみなさんと協力し積極的に取り組んで参りたいと思っております。

函館を巣立って以来、複数の都市と教育研究機関で、様々な人や文化に出会い触れたことが、教育研究活動に大きく役立っていると感じております。工学や科学の技術・知識だけでなく、上記経験とネットワークを活用し教育研究に邁進する所存です。どうぞよろしく願いいたします。

【産業システム工学科 電気情報工学コース 助教 大里辰希先生】

令和3年度4月1日から産業システム工学科電気情報工学コースに着任いたしました。学位は千葉大学にて取得後、本校に着任しました。



専門は「電力変換」で、主に高周波電源回路の解析および設計に関する研究に従事しております。

そのなかでも、電源回路の高効率化に直結するソフトスイッチング技術に着目し、具体的には、あるコンバータを例に数理モデルを導出し、2次元パラメータ空間上にソフトスイッチング領域を可視化することで回路特性を直感的に理解することができます。さらに、負荷変動においてもソフトスイッチングを制御なしに達成する負荷非依存モードと呼ばれる設計手法をE級整流器と呼ばれる整流回路に適用し、負荷非依存E級同期整流器を提案しました。提案する整流器に対して数理モデルの構築を通じ設計論を確立することに成功し、さらに実験による動作確認を行っております。

これまで教員としての経験は全くありませんが、今まで培ってきた経験を活かして、学生の皆さんと愉しく勉学していきたいと考えています。また、私は中学と高校のとき台湾に留学していた経験があります。将来的には、グローバルでも何かサポートできることがあれば、積極的に取り組んでいきたいと思っております。

【産業システム工学科

マテリアル・バイオ工学コース

助教 小船茉理奈先生】

令和3年度4月1日付で、マテリアル・バイオ工学コースの教員として着任しました小船茉理奈（こぶねまりな）と申します。岩手県二戸市出身で、2008年から2015年まで本校の学生でした（物質工学科・物質工学専攻）。専攻科修了後は、北海道大学大学院環境科学院に5年間在籍、単位取得退学した後、産業技術総合研究所東北センターでテクニカル・スタッフとして働きながら、博士号を取得しました。そして、ご縁あって八戸高専に教員として戻ってまいりました。慣れ親しんだ学び舎に戻ることができて、感慨深いとともに不思議な気持ちです。



専門分野は、触媒化学、グリーンケミストリーです。学生時代は、工業触媒や環境触媒についての研究を行ってきました。今後はその経験を活かして、環境汚染物質を無害なもの、もしくは有用な化学品へと変換するための触媒材料や反応プロセス技術の開発を目指して研究活動していきたいと考えております。

物理化学や分析化学系の授業や実験を担当しております。学生に一番近い教員として、学生の皆さんの探究心や知的好奇心を最大限尊重しながら、授業や実験、研究のサポートをできればと思っております。よろしくお願いいたします。

【産業システム工学科

マテリアル・バイオ工学コース

助教 金子賢介先生】

令和3年度6月1日付で、マテリアル・バイオ工学コースの教員として着任しました金子賢介（かねこけんすけ）と申します。出身は大分県です。大分県の高校を卒業後、北海道大学へ進学し、最終的に北海道大学大学院環境科学院にて博士号を取得しました。博士号取得後、同院の博士研究員を経て、1年間（2015年）特任助教として本校に在籍していました。1年間の本校での任期満了後、栃木県にある公益財団法人競走馬理化学研究所と、京都大学大学院薬学研究科の特定研究員を経て、本年より本校に助教として採用されました。



専門は、天然物化学という分野です。天然物化学は、生物が産生する化学物質を単離・構造決定し、その生物活性を調べ、有用な化学素材（医薬品や農薬・工業薬品など）へ応用する分野で、化学と生物学の境界領域にある学問です。青森県や東北地方の豊かな自然が育む多様な生物種に着目し、有用な化学物質を見つけて応用していきたいと考えています。

主に生物化学や機器分析の授業や実験を担当しています。青森県や東北地方の豊かな自然に学び、学生の皆さんと勉強していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

令和2年度後半の学内ニュース

第33回 アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2020（高専ロボコン）

コロナ渦の影響により、オンラインで実施されました。昨年中止となった「青森の祭り」をテーマにしたロボットを製作し、県内各地方の祭りをロボットのパフォーマンスにより披露しました。八戸高専は7年ぶりに全国大会へ出場しました。



令和3年度前半の学内ニュース

第58回東北地区高専体育大会

今年度の東北地区高専体育大会は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止となりました。ラグビーフットボール競技の開催可否については、9月中に最終判断するとのことです。

なお、全国高専体育大会の開催に伴い、競技毎に東北地区の代替大会等が行われています。現在のところ、全国大会出場競技は、団体ではバレーボール男子および女子、剣道女子です。個人では、水泳、剣道、柔道です。また、開催校枠でソフトテニスに参加予定です。

第56回全国高専体育大会

新型コロナウイルス感染拡大の影響でスケジュールを変更して開催（予定）です。開催日については、右上のQRコードでご確認下さい。



令和3年度後半 各種大会日程等

第34回 アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2021（高専ロボコン）

地区大会については昨年度と同様に「オンライン開催」となります。全国大会については、今後の状況により、オンラインで実施される可能性があります。

競技テーマ：『超絶機巧(すごロボ)』

東北大会：11月7日（日）オンライン開催

全国大会：11月28日（日）両国国技館（予定）

本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2021 第40回全国大会（エコラン）

10月23日（土）単日開催

会場：ツインリンクもてぎ

スーパースピードウェイ（栃木県茂木町）

全国高等専門学校

第32回プログラミングコンテスト（プロコン）

課題部門・自由部門・競技部門の3部門がオンラインで実施されます。

メインテーマ：

「集え！未来創造への限りなき想い」

本選：10月9日（土）～10日（日）

（主管校 秋田高専）

第18回 全国高等専門学校デザインコンペ ティション デザコン2021 in 呉

メインテーマ：「Restart」

本選：12月4日（土）

会場：呉高専（予定）

（広島県呉市 主管校 呉高専）

コースからのメッセージ

機 械 ・ 医 工 学 コ ー ス

機械・医工学コース長 村山和裕

【コース名変更】機械システムデザインコースは、本年4月から機械・医工学コースに名称変更しました。機械工学がベースとなっているのは従来と変わりませんが、医療・福祉分野を中心に様々な発想を形にできる創造性豊かなエンジニアを育成することをめざして名称変更に至ったものです。なお、現在の3年生以上は機械システムデザインコースの所属のままとなります。

【進路状況】令和2年度機械工学科を卒業した42名の進路は、就職25名、進学15名、その他2名でした。就職者のうち県内就職者数は5名(20%)でした。進学者のうち6名は専攻科に進み、更に2年間、本校において勉学に励みます。専攻科の修了生は9人で、就職7名、進学2名でした。なお、求人倍率は本科30倍、専攻科96倍と良好で、コロナ禍の影響は見られません。令和3年度は、本科35名、専攻科2名が卒業修了予定です。本科は14名が就職希望、21名が進学希望と、例年になく進学希望者が多くなっています。専攻科は2名とも就職希望です。

【終わりに】昨年度は、コロナ禍のため6月上旬までオンライン授業を行いました。今年度は今のところ対面で授業を実施できております。ただし、東北地区高専体育大会など学生が楽しみにしていた行事等は大半が中止や規模縮小に追い込まれております。皆様も大変ご苦労なさっていることと存じます。お見舞い申し上げますとともに、これまでと同様に本コースに対するご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

電 気 情 報 工 学 コ ー ス

電気情報工学コース長 野中 崇

【進路状況】令和2年度は、本科卒業生38名中19名(50%)が就職、17名が(48%)進学、その他2名でした。専攻科に5名進学しました。専攻科修了生6名中2名が就職、4名が進学し、東北大学大学院へ4名進学しました。本科求人数796社、本科求人倍率41.9倍、専攻科求人数715社、専攻科求人倍率357.5倍となり、コロナ禍の影響はほとんどなく、良好です。

令和3年度は、本科36名卒業予定、専攻科7名修了予定で、本科は就職希望者18名、進学希望者18名、専攻科は就職希望者2名、専攻科進学希望者5名です。

【本コースの状況】3月に熊谷雅美先生が沼津高専に、佐々木修平先生が福島高専に移動されました。4月より角館俊行先生、大里辰希先生の2名の教員が助教として赴任しました。

学生の活躍として、昨年度に引き続き2年連続でパソコン甲子園プログラミング部門の本選に出場しました。

【最後に】卒業生・修了生の皆様方には、多方面に渡りご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

マテリアル・バイオ工学コース

マテリアル・バイオ工学コース長 齊藤貴之

【進路状況】 令和2年度マテリアル・バイオ工学コース卒業生は34名（男18女16）で、就職15名（男7女8）、進学19名（男11女8）でした。専攻科修了生は10名（男8女2）で、就職2名（男1女1）、進学8名（男7女1）でした。本科は進学の割合が高くなりました。就職活動では新型コロナウイルスの影響で面接はほぼオンラインとなりましたが、就職状況に影響はありませんでした。また、地元就職の割合は増えてきています。

令和3年度の本科5年生は43名（男28女15）で、就職希望18名（男10女8）、進学希望25名（男18女7）です。専攻科2年生は7名（男5女2）で就職希望2名（男2）、進学希望5名（男3女2）です。

【本コースの状況】 令和3年3月で、福松嵩博先生は退職されました。中村重人先生は退職後も授業を担当していただいておりますが、令和3年3月で終わられました。また令和3年4月に小船茉理奈先生、同年6月に金子賢介先生がそれぞれ助教として赴任されました。小船先生は平成27年3月専攻科修了の本校OGです。佐々木有先生は非常勤で授業を担当しております。

【最後に】 令和2年度は卒業式を体育館で行うことができました。令和3年度の入学式も体育館で行い、本コースの1年生では初めてタイの留学生2名が入学しました。令和3年度も新型コロナウイルスの影響で、行事が中止になることが多いですが、学校は閉鎖せず授業を実施できております。新型コロナウイルスの影響で、卒業生の皆様もご苦勞されていることと思いますが、今後とも、皆様のご支援よろしくお願ひ申し上げます。

環境都市・建築デザインコース

環境都市・建築デザインコース長 藤原広和

卒業生の皆様には、日頃より本コースへのご支援をいただきまして、誠にお世話になっており、心よりお礼申し上げます。最近の本コースの状況を説明させていただきます。

【進路状況】 この3月に本科卒業生36名、専攻科修了生5名を送り出しました。本科卒業生は25名が就職、11名が進学しました。就職の内訳は、7名が公務員であり、昨年度と同数です。企業就職者は18名で、鉄道、電力、水道、ゼネコン、建設コンサル関連等に就職しています。これらのうち、青森県内企業、機関に就職した卒業生は7名でした（R02年3月卒は4名）。進学者は本校専攻科へ1名、他大学等が10名です。また、専攻科修了生は、北海道大学大学院、東北大学大学院進学が各1名で、企業就職者は3名です。

コロナ禍ではありましたが、求人数等に影響は無かったといえます。

今年度の5年生は45名在籍で、就職希望が24名、進学希望が21名です。就職希望者の内、21名が企業を、3名が公務員を志望しています。専攻科修了予定者は、1名が大学院進学、2名が公務員、4名が企業を希望しています。

【矢口先生ご定年】 本年3月で、本校・本コースに20年間に渡りご尽力いただきました矢口淳一先生がご定年となり、現在は長野高専にご勤務されております。

今後とも引き続き、本コースへのご支援ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

令和3年度 事務局短信

★ホームページ（HP）について

同窓会のホームページ（<http://www.hachinohe-ct-dsk.jp/>）を開設しております。これに伴い、HP上からの会費等のクレジット支払いや、住所変更等の書式ダウンロードも可能となります。なお、当面、従来の郵送による会費納入のお願い、住所調査も併用いたします。

★10年会費（10,000円）納入のお願い

今年は、平成13年度3月卒業（MEC-34回生，Z-29回生）および平成23年3月卒業（MEC-44回生，Z-39回生）の方が10年会費納入期にあたります。HP上から会費をクレジットカードにより支払いをお願いいたします。平成30年度の第25回総会で、永年会費への移行（年齢による永年会費の低減措置あり）および会費の変額が承認されました。具体的には、同窓会HPを参照いただきたいのですが、正会員及び準会員は10年会費として10,000円を納めるものとします。但し、永年会費として一時金（～29歳で30,000円、30～39歳で25,000円、40～49歳で20,000円、50～59歳で15,000円、60歳以上で10,000円）を納めた方は、その後の会費を免除します。また、それ以外の同窓生で未納の方も会費納入をお願いいたします。

（注）封筒に添付されている宛名シールに星印がありますが、星印の数が10年会費納入までの残りの年数を示しています。従って、星印の無い方が会費を納入する必要があります。

★住所調査葉書

同窓会名簿データ更新のため、住所や職場の変更のあった方は今年10月に発送予定の住所調査葉書にて同窓会宛に返送してください。また、同窓会では経費削減のため会報発行、事務連絡を電子メールで実施することを検討しています。この機会にE-mailアドレスの記入をお願いいたします。

なお、同窓会名簿で非公開としたい情報は、はがきのチェック欄にレ印を記入ください。ただし、同窓会の会員データとして情報が必要ですので住所等は必ず記載してください。

暫くの間、同窓会から郵便物が届かない方は、ホームページ（HP）から住所記載の書式をダウンロードし同窓会まで郵送により連絡してください。

★会員名簿（令和3年1月版）の注文方法のお知らせ

会員名簿（CD版）を令和3年1月に作成しました。令和3年度版の名簿の購入を希望される方は、HP上からクレジットカードにより代金（送料込1,500円）の支払いをお願いいたします。支払をお忘れにならないようご注意ください。

★令和2年度の事業報告

令和2年度は以下の事業を行いました。

年度	月	項 目
令和2年度	4/1	事務局打ち合わせ会議開催（八戸）
	7/11	正副会長、事務局打ち合わせ会議開催（八戸）
	7/11	理事会・評議会開催（八戸）
	9/18	会報第46号WEB発行
	9月	住所調査実施
	11/7	理事会・評議会（八戸）
	1月	名簿発行（CD版）
	3/18	新入会員（第54期生）入会式実施（卒業式）

★同窓会からの郵便の送付先について

同窓会からの郵便の送付先を、勤務先にしたい方は住所調査葉書に記載欄を設けておりますのでご利用ください。

★クラス会活動補助金について

同窓会では、クラス会活動の活性化を目的に「クラス会活動補助金」が予算化されております。活動助成金として、10名以上の集会に対し、年1回、2万円を上限に参加者数×千円を支給します。連絡先を明記したクラス名簿およびクラス会報告（写真などを含む）が義務付けられます。

★その他

同窓会は個人情報保護法の規制団体ではありませんが、連絡いただいた情報の管理は厳格に行っております。また、住所等の情報について特別な事情がある場合には同窓会事務局まで連絡してください。